

平成23年度一般会計予算に激論

6議員が賛成・反対の討論交わす

主な質疑

一般会計

町民税の見直しは

吉川議員 町民税の収入見込みですが、所得割が前年度比で88%の見込みとなっているが、原因はなにか。また、収納率は何%で計上しているか。
総務課長 特に給与所得の落ち込みがひどく、年間5億1000万円の減収になっています。営業所得等も落ちていきます。収納率は97・7%を見込んでいます。

社会資本整備総合交付金の使い道はどうか

吉川議員 社会資本整備交付金2億5000万円の収入が見込まれていますが、この交付対象は、活力の創出、水の安心安全、市街地整備、地域住宅支援、住宅建設物の耐

合併特例債は、あといくら使えるのか

江崎議員 社会資本整備補助金とインターチェンジ分の合併特例債2億6000万円が計上されている。単費はいくらになるか。
総務財政課長 一般財源分は2億4000万円です。

賛成討論

坂本悦男議員

農業関係予算にいたしましても、基幹産業であるということを踏まえ、低迷する農業の活性化を図るべく施策に対して適正な予算措置がなされ、さらには不況による消費力が低下している商業につきましても振興費の予算が講じられております。又、福祉・教育・町民の安心・安全と町の発展に期すべき予算措置であり、特にスマートインターチェンジは将来の氷川町発展の原点で、町民生活を向上させる基盤でもありません。ぜひとも早期に完成させる必要がある

反対討論

江崎 悟議員

一つはインターチェンジ予算について、文化財調査の費用等も含めると三億弱の予算が計上されております。私はインターチェンジ建設に関しては町民にとって非常に負担の大きい予算だと思っております。その道路維持補修、又は建設にあつたの企業誘致への対策は何もされておられません。小・中学校の扇風機導入については、『八代市が入れるから、光をそそぐ交付金が貰えなかった。だから単費をつぎ込んで一千万円つかいませう。』こんな計画性のない、予算の使い方がいいのですか。さらに、本予算には図書費は一切組まれていないし、東日本大震災への義援金もありません。よって私は反対いたします。

民間委託している庁務手等の労働条件はどうなっているか

吉川議員 今年度民間委託は39名です。労働条件はどうなっているか。
総務財政課長 基本的には昨年と同じです。
吉川議員 派遣となつていますが、同じ人が同じ場所でも何年も仕事をしている。なかには十数年の人もいる。退職金など必要だと思つて。他の自治体では支給しているところもある。検討すべきでないか。
町長 議員のおっしゃることは私も理解します。法律の整備も必要だと思います。検討はすべきと思つております。

太陽光温水器、太陽光発電を導入して

江崎議員 地方バス補助金が計上されているが、水川町は増額となっている。水川町の要望はされているのか。水川町役場と宮原振興局を結ぶバス路線をつくってもらいたい。
町長 2300万円を出しています。みなさんのご意見を聞きながら、路線の見直しについては声を上げていくべきだと考えています。

水川町役場と宮原振興局を結ぶバス路線を

吉川議員 鹿島地区の活

と思ひます。よつて賛成いたします。

永田義昭議員

全体を見渡しましても住民サービスの行き届いた予算と思ひます。しかしながら、住民のすべてが満足のいく予算ではないかもしれないけれども、現在の財政課、いろいろ考へて最善を尽くし、かつ将来に希望を与える予算が組まれていると思ひますので賛成いたします。

上田健一議員

町民の生活に必要な緊急性のある予算だと思ひます。また予算案と大震災は別だと考へます。よつて賛成いたします。

田中照男議員

水川町の財政は、全国の協力があつてなりたつています。水川町一般会計予算の約半分25億が地方交付税です。今は非常事態のとき、東日本大震災で困つていられる人達に目を向けた予算ではありません。よつて反対いたします。

吉川義雄議員

住民の予防、医療費を抑制するための検査の充実・インフルエンザ対策・学校の酷暑対策・町道の整備も増えていることは評価します。ただ、図書費は新年度予算からすべて外され、中心市街地の活性化や住宅政策等ありません。インターチェンジ建設については、慎重に立ち止まつて考へるべきです。今後、交付税は大きく減らされます。財政が厳しい中インターチェンジ建設は慌てなくても良い。よつて反対いたします。

議案に対する議員の態度

議員名	三浦賢治議員	田中照男議員	江崎 悟議員	松田達之議員	上田俊孝議員	上田健一議員	吉川義雄議員	有田芳人議員	片山裕治議員	坂本悦男議員	永田義昭議員	笠原良一議員
国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度一般会計補正予算	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度一般会計予算	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	○	—
平成23年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度宅地開発事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
T P P参加反対、建設業と地域を守る陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○は賛成、●は反対、—は賛否なし（議長は賛否に加わっていない）

江崎議員 地方バス補助金が計上されているが、水川町は増額となっている。水川町の要望はされているのか。水川町役場と宮原振興局を結ぶバス路線をつくってもらいたい。
町長 2300万円を出しています。みなさんのご意見を聞きながら、路線の見直しについては声を上げていくべきだと考えています。

インターチェンジ関連で町長所有の土地買収はどうするのか

吉川議員 町長所有の土地が買収にかかるということだが土地を寄付すれば法に触れるがどうされるのか。
町長 私の土地を前提にこの話が出てきたわけではありません。今後用地交渉も始まりますので、一地権者として対応をしていかなければという気持ちです。

インターチェンジの事業負担割合の協定書はどうなったか

吉川議員 インターチェンジを建設する場合には事業負担割合を決定して

から行くことというのが議会の意見だった。どうなったか。
町長 それぞれの特別委員会の話し合いでは大筋合意ができたということですが、6対4という線をもとに今後細部を詰めていきます。
江崎議員 その協定書は作られたのか。
町長 まだ、協定書まで入っていません。6対4というところで明示した確認書を取り交わしたところです。

教室には扇風機ではなく冷暖房機を設置すべき

江崎議員 備品購入費で教室に扇風機を1クラス4台置くということですが、計画的に冷暖房機を設置すべきでないか。
町長 教育委員会で議論され、要望があつたものと思つています。
教育長 現段階では扇風機を活用しながら、グリーンカーテンなど自然を利用した環境を整えていこうと考えています。現段階では扇風機が最善策と思つています。

江崎議員 鹿島地区の活性化事業として町は空き家対策を考へているようですが、以前話があつた軽トラック朝市は考へておられないのか。
町長 鹿島地区の取組みとして地元商店によるサービスデーの実施、イベント事業、地域祭りの協賛事業を考へています。河川敷の利用は考へていません。